

## 「コロナと戦う」医療従事者を支えたい！

医療従事者のためにポリ袋で使い捨ての防護エプロンをボランティアで作成している、梅原さんにお話を伺いました。梅原さんは連日の報道で医療現場の大変さを知り、何かお手伝いできないか考えていたとき、医療生協のお知らせでエプロン作りボランティアを知り始めたそうです。週に200枚から400枚程度作成し、作成したエプロンは医療生協を通して区内外の病院に届けられているそうです。医療従事者から届く「感謝の言葉」を励みに活動を続けていきたいと話されていました。



梅原さん自身も医療従事者だったそうです。だからこそその大変さがわかるんですね。



材料となるポリ袋は医療生協から届くそうです。完成したエプロンは配送のボランティアさんの協力により拠点に集められた後、病院へ必要数がわたります。



必要なものはハサミだけ！取材した私も作って見ましたがハサミがうまくポリ袋にかみ合わず、上手にいきませんでした…

取材日：令和2年9月7日 参加したボランティア数：1名

取材メモ：医療物資がひっ迫しているなか、多くのボランティアさんの協力によりエプロンが届けられていることを知りとても温かい気持ちになりました。(川畑)

問合せ先：足立区総合ボランティアセンター ☎3870-0061 FAX3870-5900